

フォローアップ診断カルテ

No. 12

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	03		樹高(H)= 12 m	幹周(C)= 254 cm	枝張(W)= 11 m	
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

前回診断結果	診断日	外観診断: 2022/09/06 機器診断: [測定データ1] [測定データ2]						
	外観診断判定	☐ A: 健全か健全に近い ☐ B1: 注意すべき被害が見られる ☒ B2: 著しい被害が見られる ☐ C: 不健全						
	判定理由	枯枝(大)あり。						
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. m)	腐朽空洞率: %	t/R 率: ①	②	③	④
		測定データ2	部位 (G.L. m)	腐朽空洞率: %	t/R 率: ①	②	③	④
		所見						
	総合判定	☐ A: 健全か健全に近い ☐ B1: 注意すべき被害が見られる ☒ B2: 著しい被害が見られる ☐ C: 不健全						
	判定理由	枯枝(大)あり。						
	処置	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☒ なし	☐ あり	
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☒ 要観察(短期周期) ☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☐ 更新() ☒ その他(衰弱枝は枝増生病による。枝増生病罹病枝の切除・焼却。)			☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置		
摘要			幹の木槌打診音異常は幹樹皮枯死範囲とその車道側の範囲に限定される。					
次回診断			☒ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期			☒ 1 年後 ☐ 2 年後 ☐ 3 年後 (2023 年度)					

フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2023/10/23 機器診断: [測定データ1] 2023/12/20 [測定データ2]						
	外観診断判定	☐ A: 健全か健全に近い ☐ B1: 注意すべき被害が見られる ☒ B2: 著しい被害が見られる ☐ C: 不健全						
	判定理由	こぶ病罹患枝が多く、以前より枝枯れ部分が拡大している。木槌打診音異常は道路側中心に高さ 60cm あたりで顕著。大径木であり幹に打音異常が見られるため、腐朽診断の実施を推奨する。						
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. G.L.0.6m m)	腐朽空洞率: 18.40 %	t/R 率: ①0.82	②0.54	③0.46	④0.46
		測定データ2	部位 (G.L. m)	腐朽空洞率: %	t/R 率: ①	②	③	④
		所見	〈腐朽診断 0.6m〉 幹にやや大きな腐朽空洞が認められる。					
	総合判定	☐ A: 健全か健全に近い ☐ B1: 注意すべき被害が見られる ☒ B2: 著しい被害が見られる ☐ C: 不健全						
	判定理由	こぶ病罹患枝が多く、以前より枝枯れ部分が拡大している。木槌打診音異常は道路側中心に高さ 60cm あたりで顕著。腐朽診断の結果、幹(0.6m)にやや大きな腐朽空洞が認められる。						
	処置	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☒ なし	☐ あり	
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☒ 要観察(短期周期) ☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☐ 更新() ☒ その他(衰弱枝はこぶ病による。こぶ病罹病枝、要切除・焼却)			☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置		
摘要			幹の木槌打診音異常は幹樹皮枯死範囲とその車道側の範囲に限定される。					
次回診断			☒ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期			☐ 1 年後 ☐ 2 年後 ☒ 3 年後 (2026 年度)					

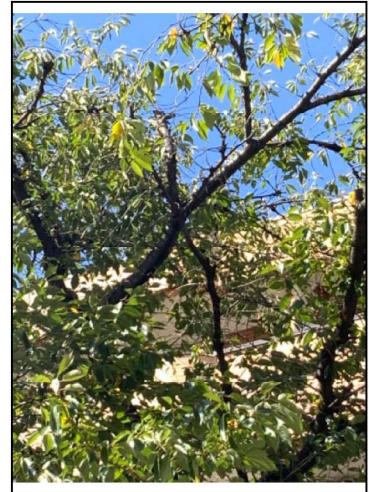


全景写真

前回診断結果被害部写真



枯枝



枯枝

フォローアップ診断結果被害部写真



露出根の腐朽(切断痕)



枯枝



枯枝